


平成20年3月期 中間決算説明会

株式会社城南進学研究社(証券コード4720)

 城南予備校

個別指導  Coveez

JOHNAN 城南予備校
Jr.  小 中 学 部

平成19年12月5日




沿革

年 月	事 項
昭和57年9月	各種学校城南予備校の経営目的として株式会社城南進学研究社を設立
昭和61年1月	東京都町田市に町田校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
昭和61年4月	教科別学力別クラス編成を導入、チューター制度を採用
昭和63年1月	神奈川県藤沢市に藤沢校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成元年4月	教務社員による教務兼任制度の発足
平成3年4月	専任・準専任講師雇用契約制度を発足
平成5年1月	神奈川県横浜市西区に横浜校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成7年1月	神奈川県横浜市金沢区に金沢文庫校を開校(対象:高校1年生～高校3年生)
平成8年1月	神奈川県厚木市に厚木校を開校(対象:高校1年生～高校3年生)
平成10年1月	東京都目黒区自由が丘に自由が丘校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成11年1月	東京都立川市に立川校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成11年4月	日本証券業協会に店頭登録
平成12年1月	東京都武蔵野市に吉祥寺校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成13年1月	東京都豊島区に池袋校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成14年4月	株式会社ジェイアシスト(連結子会社)を設立
平成15年1月	東京都新宿区に新宿校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成15年4月	個別指導コースを全校舎に併設
平成16年2月	東京都世田谷区(三軒茶屋)および神奈川県川崎市(溝の口)に個別指導コースの独立教室を開校
平成17年1月	埼玉県さいたま市に大宮校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成18年1月	千葉県柏市に柏校を開校(対象:高校1年生～高校卒業生)
平成18年2月	東京都大田区(大森)に小中学教室を開校(対象:小学5年生～中学3年生)
平成18年3月から 19年3月	東京都・神奈川県・千葉県に個別指導教室31教室、FC(個別指導教室)教室2教室、 小中学教室2教室を開校
平成19年4月から 19年9月	神奈川県に個別指導教室3教室、FC(個別指導教室)教室1教室、小中学教室1教室を開校

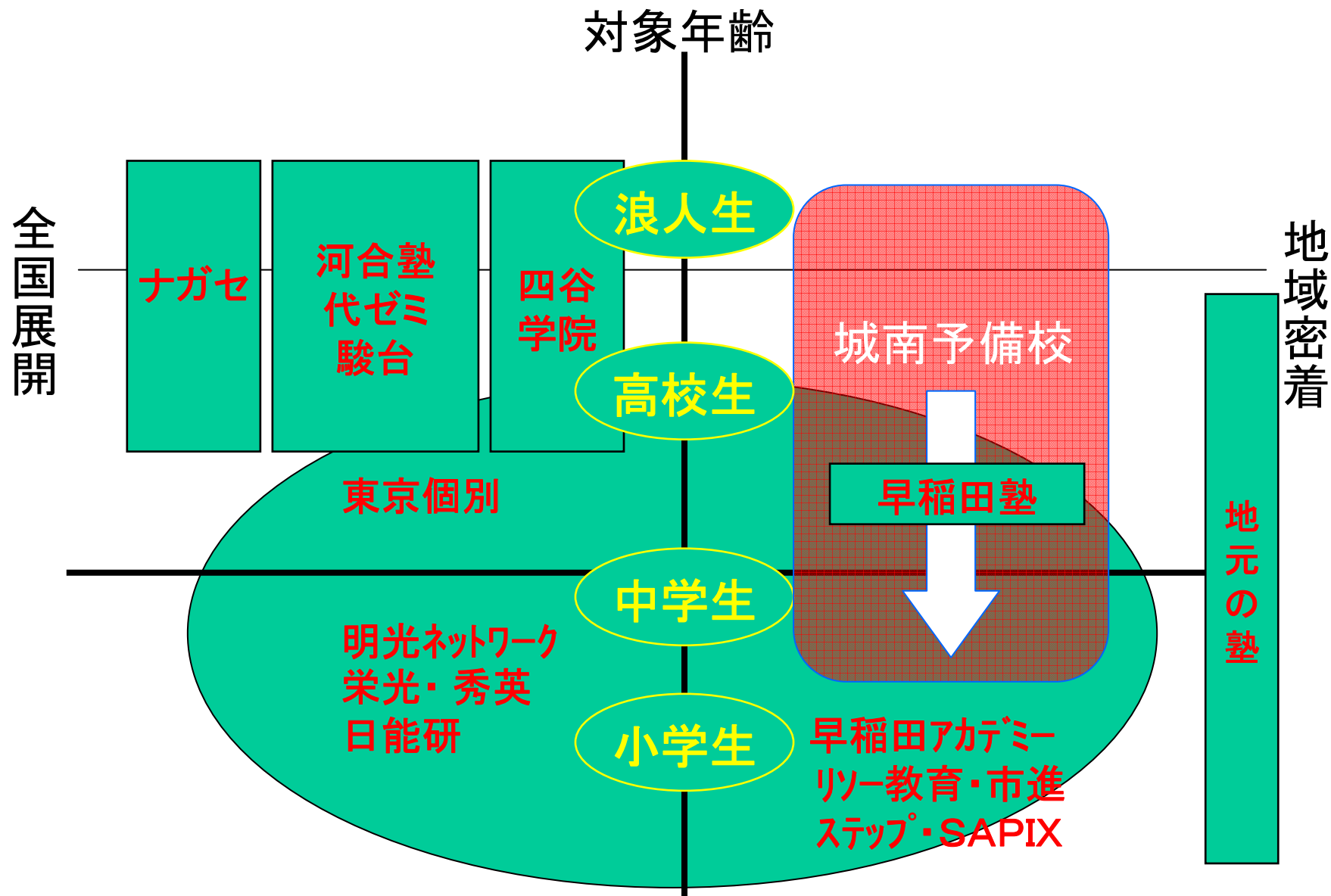
会社概要

(平成19年9月30日現在)

- ・ 商 号 株式会社城南進学研究社(JOHNAN ACADEMIC PREPARATORY INSTITUTE,INC.)
- ・ 設 立 昭和57年(1982年)9月16日
- ・ 資 本 金 655百万円
- ・ 従 業 員 数 175名(出向者、講師、契約社員等1,688人の臨時雇用者は含みません。)
- ・ 本 社 所 在 地 神奈川県川崎市川崎区駅前本町22番地2
- ・ 主 な 事 業 内 容 予備校および進学教室の経営
- ・ 発行済株式総数 8,937,840株
- ・ 株 主 数 861名
- ・ 教 室 数

	東京都 5教室、神奈川県 5校舎、埼玉県 1校舎、千葉県 1校舎	計	12校舎
	予備校内に併設 専門教室 東京都 21教室、神奈川県 33教室、千葉県 1教室 FC教室 東京都 1教室、神奈川県 1教室、千葉県 1教室	計 計 合計	9教室 55教室 3教室 67教室
	東京都 2教室、神奈川県 2教室	計	4教室

城南のポジショニング





城南予備校 大学受験事業部門の特長

- 講師→教科内容の指導
 - ハイレベルの講師陣
 - 教科の統一性(講師による指導内容のバラツキを排除)
 - 講師体制(職員講師、専任講師、非常勤講師)
 - 職員講師は毎週授業研修
- チューター→学習方法・進学面の指導
 - 社員チューター(学生チューターは使わない)
 - マニュアルの整備・実践的な研修
 - 生徒との信頼関係を基盤にした営業力
- フェロー→個人指導による補習
 - 城南OB・OG





城南予備校 個別指導事業部門の特長

■教える「講師」と、
育てる「チューター」
のW体制。

- ・講師
城南予備校のOB・OG を中心
に厳選採用。
- ・チューター
他社の個別指導では得るのが
難しい「学習指導」、「進路指導」
を提供。

■マルチサポート学習
システムの
導入。

- ・パソコンを使ったドリル学習
システム。
- ・問題集や参考書の10万ページ
(43万題)分のデータを保有。
- ・月ごとの学習結果をご家庭に
送付。

予備校・小中学部
と併用可能

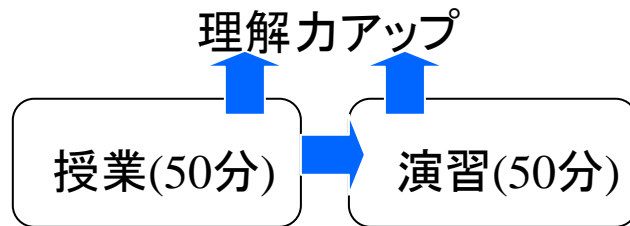
城南予備校 小中学事業部門の特長

■ 授業＋演習

コンビネーション方式

《 英語・数学・算数 》

少人数制の「集団授業」に「個別演習」を取り入れた城南予備校独自の
新指導システム



※12名定員制

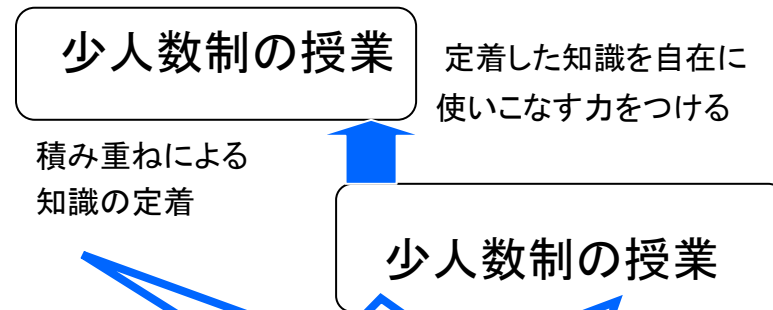
※演習では8名を超えた場合講師が2名となります。

■ 授業×2

ダブル授業方式

《 国語・理科・社会 》

少人数制の授業を1日2回連続して実施する「ダブル授業方式」は知識を定着させるには最適なシステム

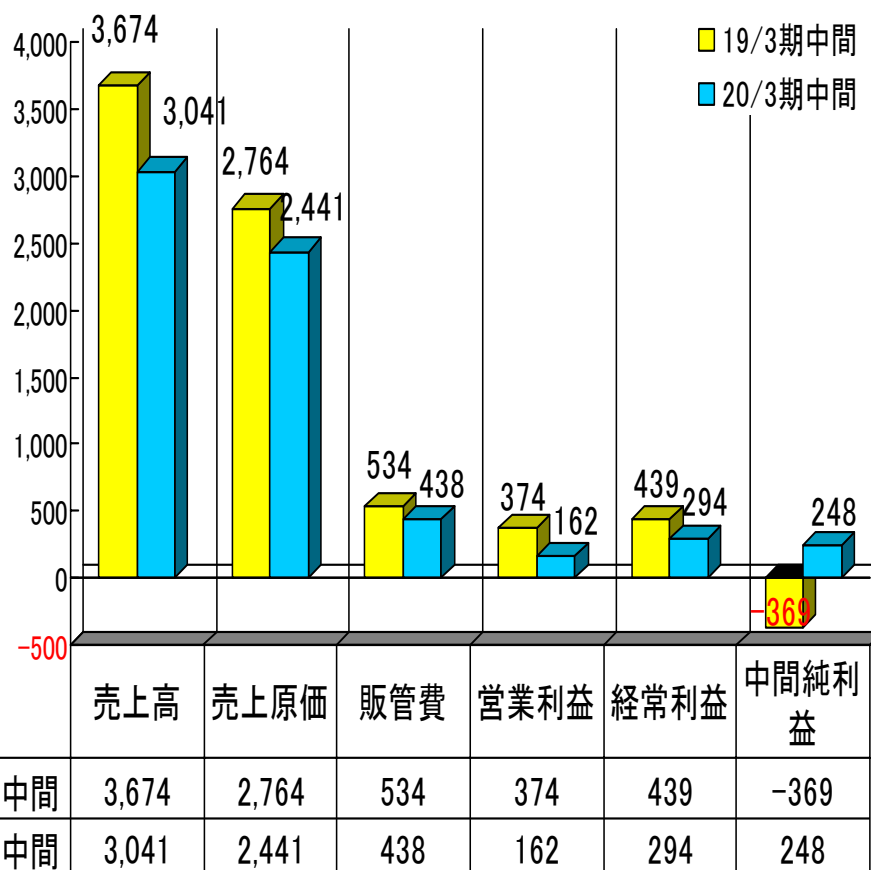


個別指導と併用可能

平成20年3月期 中間業績

平成20年3月期 中間業績

- ◆売上高 3,041百万円
- ◆経常利益 294百万円
- ◆中間純利益 248百万円



部門別売上高

※単位:百万円

		19/3期中間	20/3期中間
大学受験部門	現役生	2,374	1,951
	浪人生	656	511
個別指導部門	個別生	613	536
小中学部門	小中学生	10	22
その他	その他	18	18
合計		3,674	3,041

※大学受験部門の各校舎に併設している個別指導コースの売上高につきまして、19年3月期中間まで個別指導部門に含めて表示しておりましたが、前年決算より大学受験部門に含めて表示しております。

平成20年3月期 中間B/S・C/F

貸借対照表 (単位・百万円)	19/3期中間	20/3期中間	増減
流動資産	1,908	1,458	-450
現金及び預金	1,249	583	-666
売掛金	155	138	-16
有価証券	24	439	415
その他	479	296	-182
有形固定資産	2,766	2,684	-81
無形固定資産	101	80	-21
投資その他の資産	2,760	2,459	-300
投資有価証券	666	567	-98
その他	2,093	1,892	-201
資産合計	7,537	6,683	-853
流動負債	1,403	846	-557
前受授業料等	343	309	-33
校舎再編成引当金	325	78	-246
その他	734	458	-276
固定負債	435	464	29
株主資本	6803	6480	-322
評価・換算差額等	-1,105	-1,108	-3
純資産合計	5,698	5,372	-325
負債・純資本合計	7,537	6,683	-853

キャッシュフロー (単位・百万円)	19/3期中間	20/3期中間
営業活動によるキャッシュフロー	40	-103
投資活動によるキャッシュフロー	277	322
財務活動によるキャッシュフロー	-214	-30
現金及び現金同等物 中間期末残高	1,274	1,023

(単位・百万円)	19/3期中間	20/3期中間
設備投資	104	56
減価償却	92	88

平成20年3月期 業績予想

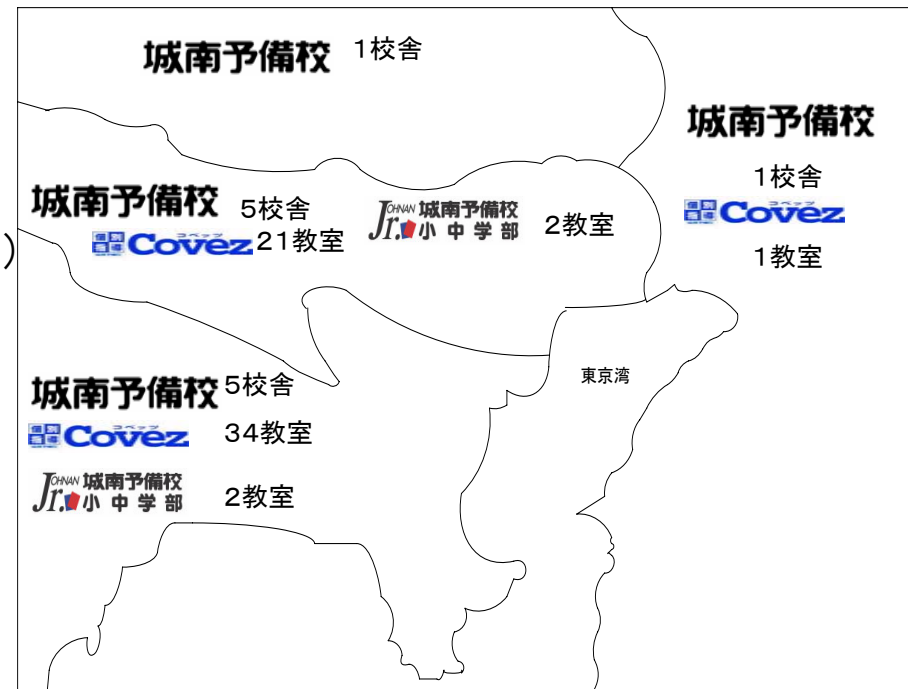
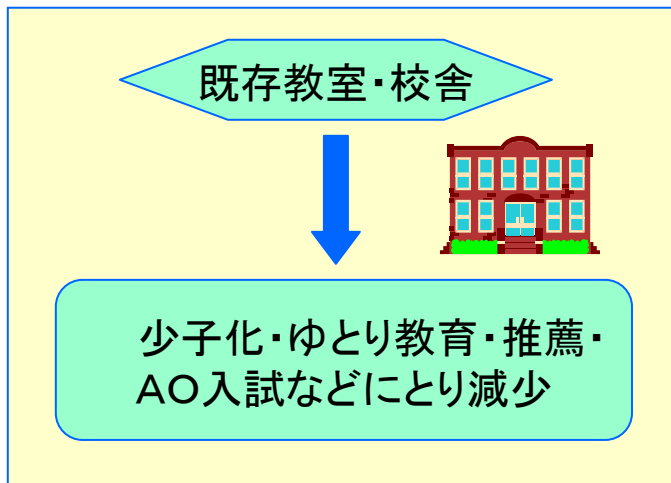
今期新規開校教室数

■ 予備校 0校舎(期末校舎数:12教室)

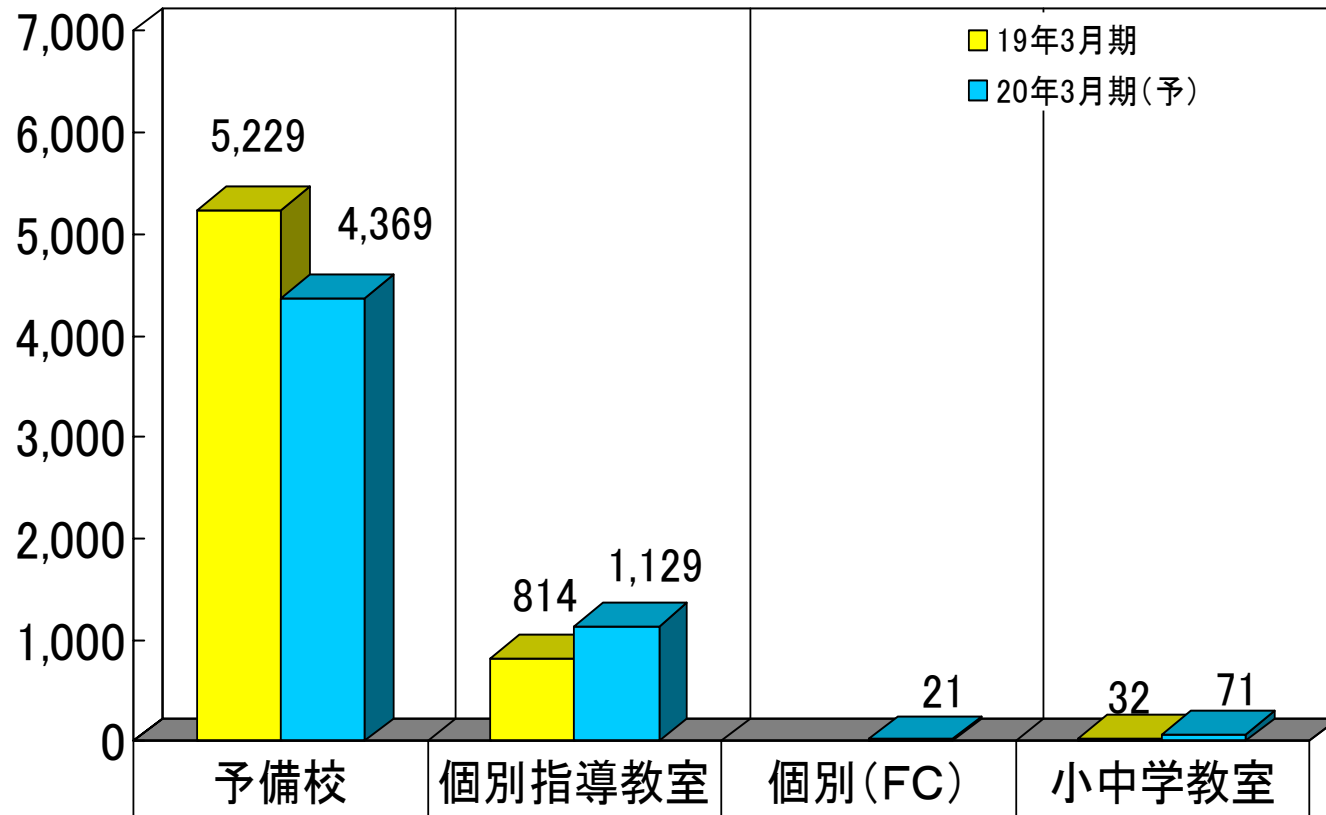
■ 個別指導専門教室
 直営 4教室(期末教室数:64教室)
 F C 8教室契約締結予定
 (期末教室数:10教室)

■ 小中学教室 1教室(期末教室数:4教室)

■ 校舎・教室 展開図



今期部門別売上高

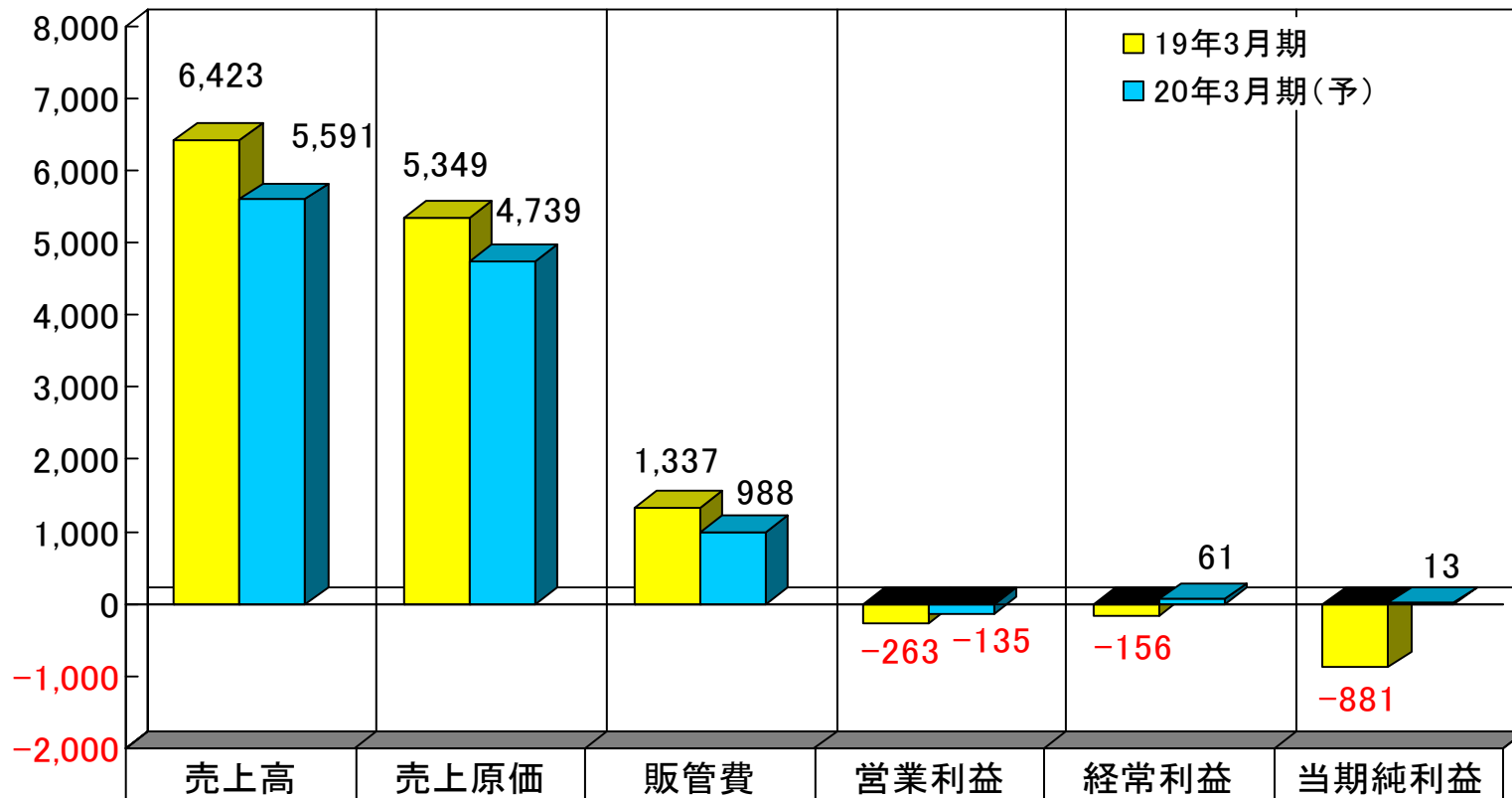


■ 19年3月期	5,229	814	-	32
■ 20年3月期(予)	4,369	1,129	21	71

平成20年3月期 業績予想

◆売上高 5,591百万円
 ◆経常利益 61百万円
 ◆当期純利益 13百万円

※単位:百万円



■ 19年3月期	6,423	5,349	1,337	-263	-156	-881
■ 20年3月期(予)	5,591	4,739	988	-135	61	13

中期計画 今後3年間

中期利益計画（今後3年間）

- 当社の現状と打開に受けて

■ 現状

- ・2期連続の営業赤字
- ・集合校舎の生徒数減少傾向
- ・個別指導教室の生徒数伸び悩み



■ 打開に向けて

新たなビジネスモデルの開拓



他社とのコラボレーション

中期利益計画（今後3年間）

- 大学受験事業部門について（その1）
 - Z会のカリキュラム・教材の使用

・Z会の教材を全校舎で使用（上位層のみ）
城南予備校の宣伝物にも「Z会」ブランド



・情報、イベントの交流

上位大学の
合格実績を上げる

Z会のブランド力・カリキュラム・教材
＋
城南の生徒指導力

中期利益計画（今後3年間）

• 大学受験事業部門について（その2）

■ ベネッセとのコラボレーション

- ・進研ゼミ スクーリングコースの導入
- ・推薦、AO対策コースの導入
- ・進研模試解説講義の導入



外部生への浸透

■ 講師体制



職員講師の育成

■ 校舎規模の見直し



生徒数に合わせた
適正規模

中期利益計画(今後3年間)

● 個別指導事業部門について

■ 既存教室の強化

- ・小中学生の更なる獲得
- ・教室長、指導員の研修
- ・教室のスクラップ&ビルド



生徒数伸び悩みを
解消する

■ FC教室の展開を加速する

- ・FC事業における認知度をあげる
- ・関東圏以外への対応
- ・加盟条件の見直し、加盟者に法人



加盟校を増加

■ 映像授業の開始

- ・河合塾 マナビスのFCに加盟
- ・既存の商圈外へ個別教室とセットで開校を基本



地方での生徒
の獲得

中期利益計画(今後3年間)

● 小中学事業部門について

■ 引き続き生徒確保に集中

- ・新サービス導入
- ・中学受験の講座を設置



生徒数増の加速

■ 今後の展開

- ・予備校の拠点に新設



予備校への進級の強化

中期利益計画（今後3年間）

※単位：百万円

部門名		20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期
大学受験事業本部	売上	4,369	3,892	3,840	3,854
	利益	208	11	124	200
個別指導事業本部	売上	1,151	1,764	2,103	2,509
	利益	△254	27	126	241
小中学事業部	売上	71	155	201	235
	利益	△105	△9	0	4
合 計	売上	5,591	5,812	6,145	6,598
	利益	△151	28	250	446

利益 → 営業利益

IRお問い合わせ先

株式会社 城南進学研究社
管理部部長兼経営戦略室室長：杉山幸広

TEL:044-246-1951

e-mail:info@johnan.co.jp

本資料は、平成20年3月期中間決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は平成19年12月5日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。